住所　京都市北区鷹峯黒門町８番地10
郭三冬　平成４年５月23日生
住所　京都市伏見区向島二ノ丸町151番地58
劉彦橋　昭和23年１月22日生
住所　京都市伏見区納所下野１番地
バシール・スルタン　昭和45年１月17日生
住所　京都市山科区四ノ宮小金塚５番地105
魏珧一　昭和32年８月24日生
住所　京都市伏見区深草一ノ坪町41番地
尾田奈美枝　昭和42年１月17日生
魏聖文　平成８年４月13日生
魏怜夏　平成11年４月13日生
住所　京都市伏見区深草一ノ坪町41番地
張在玉　昭和45年１月１日生
住所　京都市右京区常盤窪町７番地８
文学汎　平成２年11月20日生
住所　京都市南区東九条南河辺町54番地３
林繁宏　昭和48年12月25日生
住所　滋賀県甲賀市甲賀町小佐治1251番地
周鳳英　昭和54年３月11日生
住所　滋賀県草津市草津町1740番地11
鄭望実　平成５年９月13日生
住所　滋賀県愛知郡愛荘町愛知川796番地７
安勉　昭和30年８月20日生
住所　東京都港区赤坂５丁目５番13号
周龍華　昭和８年１月15日生
周孫翠娥　昭和10年４月２日生
住所　東京都世田谷区弦巻２丁目17番20号
周史民　昭和35年３月１日生
住所　東京都世田谷区新町３丁目11番７号
周燕民　昭和37年６月27日生

○厚生労働省告示第二百四十八号

介護保険法施行規則（平成十一年厚生省令第三十六号）第百十三条の四第三項、第百十三条の十六第三項及び第百十三条の十八第三項の規定に基づき、厚生労働大臣が定める介護支援専門員等に係る研修の基準（平成十八年厚生労働省告示第二百十八号）の一部を次のように改正し、第三号の改正に係る部分については平成二十八年四月一日から、第一号及び第二号の改正に係る部分については平成二十八年度の介護支援専門員実務研修受講試験（介護保険法（平成九年法律第百二十三号）第六十九条の二第一項に規定する介護支援専門員実務研修受講試験をいう。）の合格発表の日から適用する。ただし、この告示の適用の際現にこの告示による改正前の厚生労働大臣が定める介護支援専門員等に係る研修の基準を満たす課程により行われている研修については、なお従前の例によることができる。

平成二十六年六月二日　厚生労働大臣　田村　憲久

第一号中「及び再研修（法第六十九条の七第二項の厚生労働省令で定めるところにより行う研修をいう。）」を削り、同号の表を次のように改める。

区分	科目	時間数
講義	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント（居宅介護支援、施設における施設サービス計画の作成、サービスの利用援助及び施設サービス計画の実施状況の把握並びに介護予防支援をいう。以下同じ。）	三

○外務省告示第百八十一号

平成二十六年五月二十日にホニアラで、ホニアラ港施設改善計画のための贈与に関する次の概要の書簡の交換がソロモン諸島政府との間に行われた。

平成二十六年六月二日　外務大臣　岸田　文雄

1　援助の目的及び内容　ホニアラ港施設改善計画を実施するために必要な生産物及び役務の購入
2　贈与の限度額　二十六億八千百万円
3　贈与の供与期限　平成三十年十二月三十一日まで
4　署名者
日本側　木宮憲市在ソロモン大使館大使
ソロモン側　クレイ・フォラウ・ソアラオイ外務・外国貿易大臣

○外務省告示第百八十二号

平成二十六年五月五日にヤウンデで、カメルーン共和国政府に対する贈与に関する次の概要の書簡の交換がカメルーン共和国政府との間に行われた。

平成二十六年六月二日　外務大臣　岸田　文雄

1　援助の目的及び内容　経済社会開発努力推進に寄与するため、両政府の関係当局が合意する生産物及び役務を購入するための資金の贈与
2　贈与額　六億円
3　署名者
日本側　岸田文雄外務大臣
カメルーン側　エマニュエル・ンガヌ・ジュメシ経済・計画・国土整備大臣

		ケアマネジメントに係る法令等の理解	二
		地域包括ケアシステム及び社会資源	三
		ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義	三
		人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	二
		ケアマネジメントのプロセス	二
		実習オリエンテーション	一
講義及び演習		自立支援のためのケアマネジメントの基本	六
		介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）	二
		相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎	四
		利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意	二
		ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術(1) 受付及び相談並びに契約	一
		ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術(2) アセスメント及びニーズの把握の方法	六
		ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術(3) 居宅サービス計画等の作成	四
		ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術(4) サービス担当者会議の意義及び進め方	四
		ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術(5) モニタリング及び評価	四
		実習振り返り	三
		ケアマネジメントの展開(1) 基礎理解	三
		ケアマネジメントの展開(2) 脳血管疾患に関する事例	五
		ケアマネジメントの展開(3) 認知症に関する事例	五
		ケアマネジメントの展開(4) 筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例	五
		ケアマネジメントの展開(5) 内臓の機能不全（糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等）に関する事例	五